

1 学期 終業式

校長 栃倉 和則

今日は、カウント伯爵の交通安全教室と題してお話をいたします。

みなさんはカウント伯爵を知っていますか。私が尊敬するセサミストリートのキャラクター、本名はカウントフォンカウントです。ペットに蝙蝠を飼い、数えることが大好き。すごいんだよ。雪や雨の粒まで数えてしまうんだ。one, two, three, four…数えることに成功すると、大きな笑い声とともに雷が鳴り響く。ドラキュラ伯爵をモチーフにしているのではないかと思います。今度の誕生日 10 月 9 日で 1,832,659 歳

さて、ここはとある都立の高等学校。正門にいたるのは、白髪頭のおじさんです。目的は、挨拶することだったり、積極的に声を発することだったり、上を向くとか、元気に前向きに学校生活を送ってほしい…そんなことを高校生に望んでいて。何よりもまず元気をもらいたい…とまあそんなことらしいです。ご近所の方々ともコミュニケーションを欠かしません。ワンちゃんにもご挨拶をします。ある日、ご近所のおばあちゃんにチョコレートを買いました。「校長先生がんばっているから。」別に頑張っているわけじゃない。好きでやっているだけなんですけどね。いつも校門に立っているのは、だいたい 8:00～8:30 までですが、ある時、気づかれてしまいました。校長先生、何を数えているんですか。実はいろいろなものを数えています。

私が校門に立っている 30 分間に約 650 人が通ります。豊多摩の在籍者数は現在 930 人ですから、残りの 280 人は、8:00 前に学校に入っているか、裏の東門または西門から通学しているか、あるいは遅刻か欠席か・・・ということになります。

私が「おはよう」または「おはようございます」と発声している回数が約 700 回。どーっとまとまって来るピーク時など、一人に一回ずつ声をかけることは不可能です。その代わり、近隣の方々にも声をかけているので、そうなるわけですね

さて、登校する生徒数ですが、正門に向かって右、東側（鎌倉街道側）から来る生徒 70 名（自転車が多い）、浜田山駅方面から住宅地を通ってくる生徒、500 人＋自転車 20 人。左、つまり、2 グラの緑、南側を通って来る生徒 60 人（これもほとんど自転車）といった具合です。

登校時間別に見ると、8時から10分ごとに、大雑把に100、200、300と増える。特に最後の8時22分から27分までの5分間に駆け込み組が集中する。「あと、2分30秒、急げ〜！」などと私が叫んでいる時間帯です。人が集中して、慌てている・・・この時間が最も危ないです。時間に余裕をもって登校できるようにしましょう。

問題は、豊多摩高校の前の道は、車も含めて結構交通量があって、車の数、30台、人も合わせると60人！逆から来る自転車80人！合わせて140人ほどが行き来しています。近隣の方140に対して、豊多摩650、近隣の方々の5倍近い人数の生徒が通ってくるわけですが、豊多摩は私服の学校で、一般の方々と見分けにくい。これが問題です。そこは泳法審判歴20年の経験によって、鍛えられた老眼で、しっかりと見ていますが…明らかにうちの子だなとわかるようになってきます。学校ジャージを着ているとか、明らかに豊多摩っぽいとか・・・でも、時々間違えることもあります。だから、信用しすぎてもいけませんよ。各自が注意する。これが基本です。

そんなわけで、交通整理まがいのことをしています。なかなかうまくいかないこともあって、申し訳なく思うのですが、結構ヒヤッとする場面がある。道路交通法上のルールで言うと、まず横断歩道がある。だから、歩行者が最優先。そして東から西に、つまり直進する車の方が優先。次に丁字路になっていて、駅方向から来る方が、一時停止。クルマはもちろん、自転車も止まらなければなりません。丁字路は十字路よりも見通しが悪い分、危険です。カーブミラーもありますが、周囲の状況をよく把握してください。歩行者が優先なら、私たち歩いて登校する生徒が最優先なのでは？と思う人も多いでしょう。

そして一番心配なのは、やはり事故です。こんな事故、こんな事故、が想定されます。ヘルメットが努力義務化されたのもわかります。自転車で登校する人は、つねに相手のことを考えて運転してください。自分は5cmでキッと止まれると思っても、実はそうではない。短い距離で止まれたとしても、ぶつからなかったとしても、相手はびっくりしているかもしれない。不快に思っているかもしれない。若い人と年を取った人では感覚が違うのです。認知能力の差です。ぶつかることがなかったとしても、相手が転んでしまったら…腰を抜かしてしまったら…どうします？それでも責任を問われるのです。命が最優先、健康・安全が大切です。まず自分の安全、次に相手の安全を第一に考えてください。けがをしたら元も子もなく、けがをさせても大変なことになるのです。まさに「注意一秒けが一生」です。自転車でけがをさせてしまった高校生に多額の賠償責任が生じたというのも、最近ではよく耳にする話です。

そして学校を取り巻く現実はというと、これがまた難しい。近隣の方々も忙しく急いでいる。中には血眼になって、鬼のような形相をして突進してくる人もいます。これは自転車も、車も同じです。学校というのは、たくさんの生徒を抱えているので、常に厄介者になりやすい。住宅地を広がって歩いている、大きな声で話している…などなど、近隣苦情も多くあります。

具体的にお話ししましょう。

2 グラ脇を通過して、左折する自転車直前での追い越しや右側に膨らんでの左折は危険です。後ろから来ている自転車と接触すること考えられます。並走することなく、左側をゆっくり走って曲がって入ってください。慌てずに他の自転車は追いやってしまいましょう。

次に、東側から来て右折して学校に入る自転車の人、向かい側から来る、自転車や歩行者が優先です。横断歩道まで行ってゆっくりと曲がるのが正しい。対向車の直前に頭を突っ込むようにして曲がることなどないように。

こういう場面も多いですね。後ろから車が来ていたら、横断歩道のところで左に寄って止まる。クルマを先に行かせてからゆっくりと学校に入りましょう。

浜田山駅方面から住宅地を抜けて歩いてくる人、右側の車は見えやすいですが、左からの歩行者、自転車が死角に入って見えないことがある。カーブミラーに頼るのは危険です。特に右側通行してくる自転車や歩行者には最大限の注意を。直前でしっかりと左側を見なければ、確認できません。

次に、同様に駅方面から直進してくる自転車、一時停止しましょう。少なくとも左側から来る人を直接目視できるまで、いつでも止まれるようにゆっくりとスピードを落としてください。「一回止まっちゃうと漕ぎ始めが重いんだよな…」などというのは、若い高校生のセリフではありませんよ。

いずれにせよ、朝、それほどまでに急いでしまう原因は为什么呢？

5分でもいい、余裕を持って家を出るようにしましょう。

豊多摩の「自主・自律」・・・自律とは、自分を律することです。自分をコントロールすることです。自分の生活を管理する。すなわち、時間、健康、安全…そういったことを管理することが自分の責任だという意味です。自分のことについて、あれやこれや言われたい。自分が言われたくないことを人に言わせない。これが自律だと考えています。

まずは自己管理。健康と安全に努めましょう。今日、特に学んだことはカーブミラーと止まれ！でした。

それでは、一学期も終わり、夏休みの始まりです。部活動に、講習に、目標に向かって完全燃焼しよう！二学期に元気な顔を見せてください。

Touch the Sky! TOYOTAMA!